



2019年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月10日

上場会社名 株式会社ANAP 上場取引所 東
 コード番号 3189 URL <http://www.anap.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)家高 利康
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画部長 (氏名)大矢 正幸 (TEL) 03-5772-2717
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第2四半期の連結業績(2018年9月1日~2019年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	2,994	—	△11	—	△10	—	△22	—
2018年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年8月期第2四半期 △27百万円 (—%) 2018年8月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	△5.16	—
2018年8月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2018年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年8月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	2,493	1,586	63.4
2018年8月期	2,903	1,848	63.3

(参考) 自己資本 2019年8月期第2四半期 1,580百万円 2018年8月期 1,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,107	7.2	356	2.0	319	△6.2	265	3.8	61.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年8月期2Q	4,760,000株	2018年8月期	4,760,000株
2019年8月期2Q	469,339株	2018年8月期	219,339株
2019年8月期2Q	4,358,605株	2018年8月期2Q	4,315,771株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自 2018年9月1日 至 2019年2月28日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景として景気が緩やかな回復基調を続けております。一方、世界経済に目を転じると、米中間の貿易摩擦の激化、欧州経済の低迷、英国のEU離脱問題など経済動向と政策の不確実性などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

当社が属するカジュアルファッション業界におきましても、他社の過剰なサービス競争の激化に加えて、人手不足、物流費の高騰なども影響し、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の下、当社は2016年4月から開始いたしました再生プロジェクトが前連結会計年度まででほぼ完了し、当連結会計年度よりさらなる事業拡大のための成長戦略へと舵を切っております。

事業の方向性としては、EC及びAI等で業務効率化を急速に進めると共に、連結子会社ATLABが展開する事業の拡大等の施策をとっております。上期は投資期間が先行しているため、売上高、利益面ともに具体的な効果が出てくるのは下期以降と見込んでおり、足元の数値で計画に対しては概ね順調な状況で進行しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,994百万円、営業損失11百万円、経常損失10百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失22百万円となりました。

なお、前年同四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりませんでしたので、前年同四半期比較は行っておりません。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(インターネット販売事業)

インターネット販売事業につきましては、他社のサービスに負けないよう、最先端の技術を駆使した自社サイトのシステム再構築や、外部に委託していたアプリを2019年5月より内製化する等、ユーザビリティの向上を進めており、投資が先行いたしました。

以上により、売上高は1,706百万円、セグメント利益は98百万円となりました。

(店舗販売事業)

店舗販売事業につきましては、前連結会計年度末より退店3店舗を行った結果、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は29店舗となりました。売上高は前期以前に退店した店舗の影響もありましたが、既存店舗は前連結会計年度より引き続き好調を維持しており、利益面に関しましては、退店店舗の経費圧縮効果もあり堅調に推移しております。

以上により、売上高は1,147百万円、セグメント利益は57百万円となりました。

(卸売販売事業)

卸売販売事業につきましては、大口の新規の取引先に対する販売増加に伴い、売上高は堅調に推移しております。

以上により、売上高は113百万円、セグメント損失は7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,883百万円となり、前連結会計年度末に比べ517百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が68百万円増加した一方で、現金及び預金が431百万円、受取手形及び売掛金が168百万円それぞれ減少したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は609百万円となり、前連結会計年度末に比べ107百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が13百万円、無形固定資産が12百万円、敷金及び保証金が91百万円それぞれ増加したことによるものです。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は0百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は618百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が7百万円、短期借入金が50百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が28百万円、資産除去債務が6百万円、その他が153百万円それぞれ減少したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は288百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が16百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,586百万円となり、前連結会計年度末に比べ261百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失計上に伴い利益剰余金が22百万円、配当金の支払により利益剰余金が27百万円、自己株式の取得により206百万円それぞれ減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、936百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は17百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額168百万円による増加、税金等調整前四半期純損失12百万円、退職給付に係る負債の減少額16百万円、たな卸資産の増加額70百万円、未払金の減少額21百万円、未払費用の減少額17百万円、預り金の減少額34百万円、法人税等の支払額28百万円による減少の結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は155百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入16百万円による増加、有形固定資産の取得による支出21百万円、有形固定資産の除却による支出14百万円、無形固定資産の取得による支出23百万円、敷金及び保証金の差入による支出107百万円による減少の結果であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は257百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額50百万円による増加、長期借入金の返済による支出69百万円、自己株式の取得による支出206百万円、配当金の支払額26百万円による減少の結果であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年10月10日の「2018年8月期 決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,368,115	936,763
受取手形及び売掛金	428,691	260,558
商品及び製品	563,614	632,556
仕掛品	1,248	1,759
原材料及び貯蔵品	3,769	5,128
その他	40,655	50,970
貸倒引当金	△4,663	△3,882
流動資産合計	2,401,431	1,883,853
固定資産		
有形固定資産	108,661	122,086
無形固定資産	59,442	71,841
投資その他の資産		
敷金及び保証金	209,391	300,700
その他	124,014	114,636
投資その他の資産合計	333,406	415,336
固定資産合計	501,510	609,265
繰延資産	250	218
資産合計	2,903,192	2,493,338
負債の部		
流動負債		
買掛金	197,736	205,348
短期借入金	140,000	190,000
未払法人税等	42,263	13,691
賞与引当金	35,000	35,000
返品調整引当金	300	—
資産除去債務	6,990	—
その他	328,161	174,352
流動負債合計	750,452	618,392
固定負債		
退職給付に係る負債	191,756	175,601
資産除去債務	85,639	89,091
その他	27,203	23,677
固定負債合計	304,599	288,370
負債合計	1,055,052	906,762

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,188	393,188
資本剰余金	716,654	716,654
利益剰余金	795,154	745,406
自己株式	△68,678	△275,013
株主資本合計	1,836,318	1,580,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	620	343
その他の包括利益累計額合計	620	343
非支配株主持分	11,200	5,996
純資産合計	1,848,140	1,586,575
負債純資産合計	2,903,192	2,493,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
売上高	2,994,367
売上原価	1,259,662
売上総利益	1,734,705
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	414,100
賞与引当金繰入額	35,000
退職給付費用	17,348
業務委託費	397,965
地代家賃	275,642
貸倒引当金繰入額	△780
その他	606,768
販売費及び一般管理費合計	1,746,044
営業損失(△)	△11,339
営業外収益	
受取利息	20
受取配当金	33
受取補償金	9,713
その他	1,049
営業外収益合計	10,816
営業外費用	
支払利息	1,055
為替差損	2,051
支払手数料	5,294
その他	1,160
営業外費用合計	9,561
経常損失(△)	△10,084
特別損失	
減損損失	2,627
特別損失合計	2,627
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,711
法人税、住民税及び事業税	3,485
法人税等調整額	11,510
法人税等合計	14,996
四半期純損失(△)	△27,708
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,204
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,503

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
四半期純損失(△)	△27,708
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△277
その他の包括利益合計	△277
四半期包括利益	△27,985
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,780
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△12,711
減価償却費	26,727
減損損失	2,627
長期前払費用償却額	1,659
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16,155
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△780
受取利息及び受取配当金	△53
支払利息	1,055
為替差損益 (△は益)	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	168,133
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,813
前払費用の増減額 (△は増加)	△9,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,612
未払金の増減額 (△は減少)	△21,005
未払費用の増減額 (△は減少)	△17,525
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,657
預り金の増減額 (△は減少)	△34,833
その他	△13,757
小計	2,141
利息及び配当金の受取額	53
利息の支払額	△1,037
補償金の受取額	9,713
法人税等の支払額	△28,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△0
有形固定資産の取得による支出	△21,990
有形固定資産の除却による支出	△14,277
無形固定資産の取得による支出	△23,945
敷金及び保証金の差入による支出	△107,384
敷金及び保証金の回収による収入	16,075
長期前払費用の取得による支出	△4,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,987

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 2018年9月1日
 至 2019年2月28日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000
長期借入金の返済による支出	△69,984
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,315
自己株式の取得による支出	△206,334
配当金の支払額	△26,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△431,352
現金及び現金同等物の期首残高	1,368,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	936,763

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年10月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式250,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が206百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が275百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,706,696	1,147,586	113,550	2,967,833	26,533	—	2,994,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,706,696	1,147,586	113,550	2,967,833	26,533	—	2,994,367
セグメント利益又は損失(△)	98,325	57,201	△7,031	148,495	7,002	△166,837	△11,339

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用166,837千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。